

認知症の人とどう向き合うか？ —認知症を抱える人々と共に過ごすことを考える— (一般向け講座)

日時

平成28年12月4日(日) 10:00~11:30

場所

千葉大学看護学部

第2講義室(亥鼻キャンパス内)
千葉市中央区亥鼻1-8-1

主催：千葉大学看護学部

時間	講義内容等	講師等
9:30~10:00	受付	
10:00~10:05	開講の挨拶	千葉大学大学院看護学研究科長 宮崎 美砂子
10:05~11:20	認知症の人とどう向き合うか？ —認知症を抱える人々と共に過ごすことを考える—	千葉大学大学院看護学研究科 助教 戸田 由利亜
11:20~11:30	質疑応答・まとめ	千葉大学大学院看護学研究科 広報渉外委員会 委員長 小宮山 政敏
11:30	閉講の挨拶	

《申込方法》

○Eメール

参加予定者全員の郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・性別・年齢・連絡先(日中連絡可能な連絡先)をご記入の上、下記メールアドレスまでお送りください。メールの件名(タイトル)は、「公開講座受講申込(一般)」としてください。

先着順に「受講内定メール」をお送りします。

【対象】 高校生やそのご家族、市民のみなさま

定員100名(定員を超えた場合、お断わりする場合があります。)

【受講料】 無料

【受付期間】 平成28年10月3日(月)~平成28年11月30日(水)

【申込先】 〒260-8672 千葉市中央区亥鼻1-8-1
千葉大学看護学部学務係 公開講座担当
TEL 043-226-2452 FAX 043-226-2382
E-mail kango-gakumu@chiba-u.jp



CHIBA
UNIVERSITY

※お申し込みの際に記入して頂いた個人情報は、千葉大学看護学部公開講座業務以外には使用致しません。

認知症の人とどう向き合うか？ —認知症を抱える人々と共に過ごすことを考える—

高齢社会実践看護学分野 老人看護学 戸田 由利亜

《講義概要》

私たちは生まれ育ち、日常生活を営みながら老いていきます。その日々の感覚と経験の積み重ねから、自然と「今」がいつであり、「ここ」がどこであり、そして「わたし」が誰であるのかを私たちは培っていきます。

認知症は、一旦成熟し、正常な認知機能を発揮できるようになった脳の神経細胞に異常変性や萎縮が生じ、徐々に記憶や一つの物事に注意を向けておくこと、計画立てること、言葉や行動を組み立てることが難しくなる疾患です。連続した「わたし」の生活の途中で認知症を抱えた時、高齢者は長い人生の積み重ねで培われた「今」「ここ」「わたし」が失われることへの大きな不安と他者との言語的な意思疎通の困難さに陥ります。一見すると認知症を抱える高齢者は「わたし」を失い、意思の疎通ができない困った人のように見えます。しかし、高齢者と同じ時や場を共有しながら丹念に生活の様子を見ていくと、高齢者が過去に築いていた他者との関係性は、現在の生活の中にも仕草や動作、他者とのやり取りに投影されるかのように存在しています。つまり、認知症によって時間や空間は分断されてしまうのではなく、認知症を抱える高齢者は、網の目のように重なり交わる時間と空間、他者との関係性とは不可分に存在しているのです。だから私たちは、自分がそばにいること自体が認知症を抱える人々へどのような影響があるのか考えてみる必要があります。

認知症をもつ人々を含めた他者と共に存在することの戸惑いや困難さを味わった実践経験から生まれた研究の発展プロセスも紹介しながら、認知症を抱える人々と共に過ごすことについて参加者の皆さまと共に考えてみたいと思います。

《交通アクセス》

■JR千葉駅から、バスのご利用案内

JR千葉駅東口の改札を出て直進し、駅舎を出るとバスターミナルがあります。7番乗り場から、京成バス「大学病院」行き、または「南矢作」行きに乗車し、「医学部入口」(5番目のバス停)で下車してください。千葉駅から所要約15分です。

医学部の正門を入りましたら、左へお進みください。左側つきあたりが看護学部棟です。

第2講義室は、看護・医薬系総合教育研究棟（中棟）の2階です。

